



自分が選んだ業種で実際に働いてみる

働くことから学ぶ

日野中学校職場体験活動

働くことから生きる力を学び、社会性を身につけようと、「ワクワク日野」職場体験活動が、6月22日から3日間行われました。

活動したのは日野中学校の2年生32人。生徒たちは、数名ずつの班に分かれ、スーパー、コンビニエンスストア、ガソリンスタンドなど、町内の事業所など13カ所で職場体験をしました。

黒坂保育所で職場体験をした荒木沙紀さんは、小さな子どもが好きなので保育所を希望しました。子どもがいつぱい集まってくるので相手をするのが大変だけど楽しい」と、仕事のやりがいを話していました。

生徒たちを受け入れる立場の指導ボランティア、水谷修一さん（水谷石油店）は、「仕事の飲込みが早く、洗車や車の窓ふきなど助かっています。将来どんな仕事に就くのかはわかりませんが、この経験が今後車を持つうえでプラスに

なってくれば」と思いを語りました。

生徒たちの責任感や仕事に対する意欲を育てるこの体験学習は、こうした地域のみならず行われています。

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。

★役場総務企画課まで（電話72・0331）

2部門で県大会出場が決定

県西部消防ポンプ操法大会

7月3日、県消防学校（米子市）で、第47回県西部消防ポンプ操法大会が開かれました。

この大会は、県西部町村の消防団が、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部それぞれで動作の正確さや所要時間を競うものです。

町消防団からは、4月の町審査会で選ばれた選手が出場し、ポンプ車操法の部で準優勝、小型ポンプ操法の部では優勝と大健闘し、7月17日に鳥取市で開かれる県大会への出場が決まりました。



優勝した小型ポンプ操法の部



心のコもった作品たち

趣味の作品の数々

第2回文化展

趣味の活動を続けているまちのみなさんの作品を集めた「第2回文化展(町文化団体連絡協議会主催)」が6月12日から14日まで開発センターで開かれ、多くの人でにぎわいました。

この作品展には、水墨画、陶芸、写真など多くの作品が展示されました。訪れた人たちは、ひとつひとつの作品を、その出来ばえに感心しながらゆっくりと眺めていました。

住民に選ばれる病院づくり

日野病院との意見交換会

地域の人たちと語り合い、これからの地域医療や病院運営に活かそうと、日野病院と黒坂5区自治会との意見交換会が、6月15日、町公民館で開かれました。

出席したのは、浜副院長をはじめ病院関係者と黒坂5区自治会の皆さん。院長から、病院の基本理念である「住民に選ばれる病院づくり」や運営方針などについての説明の後、住民から病院や黒坂診療所への意見、質問がありました。その中では、「近くに診療所ができたので、ちょっとした体の不調でも気軽にに行けるのでうれしい」「診療所と病院のカルテの共通化はできるのか」などの声があったほか、認知症や介護予防などについても質問があり、院長がそれに対応するなど、活発な意見交換会となりました。

【お知らせ】地域との意見交換会の「要望がありましたら、日野病院(電話72 0351)までご連絡ください。



住民から率直な声があがる



意見に答える浜副院長

初のSF作品に挑戦

お芝居くらぶ

さん・ふいーるど公演

町内の若者を中心に結成されている劇団「お芝居くらぶさん・ふいーるど」の第12回公演「Epi taph(エピタフ)」が、7月9日、10日、町文化センターで行われました。

今回の公演は、宇宙船を舞台にしたSF作品で、さん・ふいーるどでは初の試み。宇宙船の乗組員たちと合成人間との心の葛藤を描いた内容で、出演者たちは練習を重ねてきた成果を発揮し熱演、客席の感動を呼びました。

なお、この公演の収益は骨髄移植推進財団に全額寄付されることになっていきます。



緊張感ただよ舞台

幻の橋の案内人

孫四郎橋跡に看板を設置

その昔、下黒坂と本郷を結ぶ日野川にかつていた「孫四郎橋」。その歴史を語り継ごうと、6月28日、町ボランティアセンターが橋の跡地付近に看板を設置しました。



看板には橋の歴史を記載

町内初のマンション完成

まちづくり日野マンション

町内に定住する人口を増やそうと、(株)まちづくり日野が根雨のまちにマンションを建設しました。

マンションの規模は、2棟に合計8世帯間取りはすべて2LDKで、これにより定住人口の増加、まちの活性化が期待されます。



新しいまちづくりの

